

2020年度 男子ラクロス部 メンバーインタビュー

スローガン：「Wave」

部員数

41～60人

主な成績

所属学群

体育専門学群, 人文・文化学群, 社会・国際学群, 人間学群, 生命環境学群, 理工学群, 医学群

2019関東学生ラクロスリーグ戦 2部Bブロック5位
(2020年度は開催なし)

練習場所

筑波大学セキショウフィールド、春日グラウンド

早稲田 拳 (人間4年/主将)

山田 駿斗 (体育4年)

種村 魁 (体育2年/学年リーダー)

— 私が目指す「ラクロス」

早稲田

ラクロスという競技自体が、大学から始める人が多い。そのため、大学から始めても、日本一や日本代表を目指す競技です。今、筑波は二部にいますが、まずは一部昇格を目指しています。これから新生が入学した時には、筑波のラクロス部は日本一を目指す環境になると思います。

そんな中で自分たちが取り組む姿勢として、これはラクロス界の特徴でもあります。いろんな人と関わって、競技レベルを向上させていく様な積極性を大切にされています。個人的にも、積極的にいろんなところに学びに行く姿勢を大切にしています。



種村

ほとんどの選手が大学から始める競技なので、自分のこれからの努力次第で日本一や日本代表を狙える競技です。その中でも、筑波は施設が充実していて、また自主練も自由にできます。そういった環境の中で、自分たちがどれだけ努力するか、自分たちの努力と充実した施設を活かして、ラクロスに没頭できるところが筑波のラクロスだと思います。

— 筑波大学をどう思っていた？

早稲田

筑波大学について入学前に、田舎で、ゆっくりした時間が流れる環境だと聞いていました。実際に入学してみると、いろんな学群やいろんな先生がいて、また、地域に目を向けても、筑波大学が様々な企業と関わっていて、ここには、学べる場所がたくさんあるなという印象を持っています。

山田

中学生のころからスポーツ科学に興味があったので、筑波大学を選びました。その中でも、ラクロス部に入ったのは、大学から始める人がほとんどの競技ということで、そこに新鮮さを感じたからです。

種村

体育やスポーツのことを学びたいと考えたときに、環境が整っていて、また体育スポーツ分野では日本のトップということで、筑波を目指すことを決めました。実際に入学すると、いろんな分野、文系理系だけでなく、体育や芸術、医学などのトップクラスの方がいて、そのような人たちと、部活を通じて関われるところが、すごくいい経験だなと感じています。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなおとこ

早稲田

チームでは、主体性が重要になります。それを成長して発揮できる環境があります。また、チームとしての目標、どんなチームになりたいかという将来像について、自分たちが目指したいチームを自分たちで決めていきます。今シーズンであれば「つくば市、筑波大学の人に、ラクロスを通じて感動や勇気を与える」ということを Vision にしています。そのために、頑張っている最中です。

山田

ラクロスという競技の面白さ、学群学類関係なく熱くなれるところ、スポーツ経験を活かせる部分が多いところ。

種村

チームの運営を学生が全て行っています。運営面でみんなを引っ張るところで学べる部分が大きいです。また、みんなラクロスが好きで、ずっとラクロスのことを考えていて、みんなで高め会える環境が好きです。



— これからの目標(直近の目標、人生の目標)

早稲田

主将になった理由にもなりますが、もちろんチームで勝ちたいという気持ちを持っています。それと同時に、このチームで活動することで、全員が楽しくて有意義な時間を過ごせるようなチームを作りたいと思って、主将をやっています。いろんな人のことを考えて、どうやったらいいチームにできるか、それを学んでいくことを目標にしています。

将来は、企業で、チームでの経験を活かせればと思います。

山田

将来、チームが1部昇格できるようにサポートしたり、自分の持っている知識などを後輩に伝えていきたいです。

種村

関東リーグでは二部にいるので、まず一部昇格を目指しています。2年後には、一部のFinal 4、日本一を目指しています。

— 未来のチームメイトに一言

早稲田

本当に可能性が無限大なスポーツです。努力次第で自分になりたいようになることができる場所です。これまでとは違う新しいことに挑戦しようとする、その気持ちがあれば、ぜひ一緒に頑張りましょう！ よろしくお願いします。

山田

チームが強くなれるように、一人一人が自覚を持って切磋琢磨して活動していきましょう！

種村

私がラクロス部に入った理由は、体育専門学群に入学する学生の多くが、これまで経験してきたスポーツを続けます。私自身は、これまで野球をやってきましたが、いろんなスポーツをやってみたいという想いを持っていました。ラクロスという、大学から多くの人が始めるこのスポーツで、自分の力を試してみたい、日本一や日本代表を目指せる環境で、新たに活躍できる場所を得られればと思い入部しました。

体育専門学群に入学しても、これまでの競技だけでなく、新しい競技を始めて、一緒に日本代表や日本一を目指したいなと思います。

